
体育史学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 229, 2023. 8. 22.

体育史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒186-8688
東京都国立市富士見台 4-30-1
東京女子体育大学
藤坂由美子研究室内
Tel : 042-505-7264
taiikushi_office@taiikushi.org

事務局への連絡は、なるべく
e-mail をご利用ください。

I. 日本体育・スポーツ・健康学会第 73 回大会における企画

日本体育・スポーツ・健康学会第 73 回大会は 2023 年 8 月 30 日（水）から 9 月 1 日（金）まで、同志社大学今出川キャンパスにおいて開催されます。体育史専門領域では、キーノートレクチャー 1 演題および一般研究発表 5 演題を予定しています。

1. 体育史専門領域キーノートレクチャー

日 時：9 月 1 日（金）10:00～11:30

会 場：同志社大学今出川キャンパス 良心館 2 階 RY202 番教室

テーマ：ベルリン・オリンピック反対運動と反戦・平和の論理ーオリンピック理念をめぐる対立ー

演 者：青沼裕之（武蔵野美術大学）

司 会：來田享子（中京大学）

2. 一般研究発表

日 時：9 月 1 日（金）12:30～16:10

会 場：同志社大学今出川キャンパス 良心館 2 階 RY202 番教室

発表 5 演題（第 73 回大会ウェブサイトより大会プログラムを参照ください）

II. 体育史学会第 12 回大会の報告

体育史学会第 12 回大会は池田恵子会員・崎田嘉寛会員（北海道大学）のお世話により、6 月 10 日（土）および 11 日（日）の両日、北海道大学において開催され、一般研究 12 演題の発表と研究方法セミナーが実施されました（参加者：53 名）。

〔一般研究発表〕（発表順）

1) 月刊誌『蹴球』（1931-41）にみる翻訳文学の歴史的考察

ホイットフィールド デール（北海道大学・高等教育推進機構）

2) 野球の打撃・投球動作の技術史研究ー1951 年オールスター戦動画の川上哲治・金田正一を事例としてー

中村哲也（高知大学）、近藤雄大（北海道大学大学院）、崎田嘉寛（北海道大学）

- 3) 『野球界』(1911-1918) にみる帝国主義的メディア表象に関する研究
白蓓楽 (北海道大学大学院)
- 4) 近代中国における体操の変化(1931-1945年) —社会制度により体育思想の差異を手掛かりにして—
馬 達 (広島大学大学院)
- 5) 社会教育法(1949年制定)第2条「体育及びレクリエーション活動」追加過程の検討—社会体育の法的根拠の成立—
岩佐直樹 (朝日大学)、來田享子 (中京大学)
- 6) 明治期剣術家・渡邊昇と堀田捨次郎—剣術修行記録を中心にみる身体運動文化継承の—様相—
田端真弓 (長崎大学)
- 7) 『遊戯舞踏楽譜』(1905年)を用いたダンス教育の再現と史的考察
船場大資 (山口学芸大学)、小野隆洋 (山口芸術短期大学)
- 8) 『陸軍戸山学校体育史』の構想
木下秀明 (元日本大学)
- 9) ドイツ競技大会(1922)はアントワープ・オリンピック(1920)の代替となりえたか
都筑 真 (日本女子体育大学)
- 10) 1948年第14回オリンピック・ロンドン大会の招待国決定の経緯に関する研究
和所泰史 (静岡産業大学)
- 11) スカウティング指導書『列強少年の社会教育』(1923)にみる「遊技」の位置づけについて
石立克己 (北海道大学大学院)
- 12) SS・NSDAPであったオーストリア・トップスイマーの弁明—1946年5月における連邦教育省スポーツ局への競技出場請願から—
鈴木明哲 (東京学芸大学)

〔研究方法セミナー〕

スポーツ種目史としてのスキー史の研究について

演 者：新井 博 (日本福祉大学)

司 会：秋元 忍 (神戸大学)

Ⅲ. 体育史学会総会(2023年度)報告

2023年度体育史学会総会を、第12回大会終了後(6月11日)に、北海道大学で行いました。2022年度収支決算報告(案)、2023年度事業計画(案)、2023年度予算(案)が審議され、すべて承認されました。

総会の最後には、「体育史学会学会賞(若手研究奨励賞)」受賞者の発表があり、新井会長から通知書/賞状が授与されました。また、2023-2024年度体育史学会役員選出選挙の結果について、新理事7名、新監事2名が選出されたことが報告されました。

なお、総会資料については、体育史学会ウェブサイトの「会員専用ページ」で案内する予定です。パスワードはメールマガジンでお知らせします。

◇2023 年度体育史学会研究助成

・小松恒誠「戦後初期における学校体育に関する研究－東京第一師範学校女子部付属小学校における体育授業研究に着目して－」

◇体育史学会学会賞（若手研究奨励賞）

※ 対象：『体育史研究』第 39 号（2022 年 3 月発行）掲載論文

・岩佐直樹・來田享子「日本レクリエーション協会が 1951 年に制定した『レクリエーション指導者資格検定規程』に関する研究－指導者養成の位置づけとその制度化に着目して－」

IV. 『体育史研究』編集委員会より

『体育史研究』第 41 号（2024 年 3 月発行予定）への投稿をお待ちしています。第 41 号の投稿締め切り日は、2023 年 9 月 30 日です。

なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われ、各年度の投稿締切日は 9 月末となっています。

※ 2023 年 5 月 31 日付で「体育史研究」投稿規程が改正されました。投稿原稿の文字数は原則として 1 篇につき図表、写真、英文抄録を除き 20,000 字程度までとし、オリジナル原稿提出の際は各頁に行番号を付した状態で送付することと変更されましたので、投稿者ご注意ください。詳しくは、『『体育史研究』投稿規定』（学会ウェブサイト [「体育史研究」→「投稿・編集規定」]）をご覧ください。

『体育史研究』への投稿の宛先

1) メールでの投稿

体育史学会『体育史研究』編集委員会事務局：editorial_office@taiikushi.org

2) 郵送での投稿

〒060-0811

北海道札幌市北区北 11 条西 7 丁目

北海道大学大学院 教育学研究院

崎田嘉寛研究室内 『体育史研究』編集委員会

以上